

北海道大学医学部保健学科・大学院保健科学院・大学院保健科学研究院
伊達広行基金 創設趣意書

北海道大学医学部保健学科は、平成 15 年 10 月 1 日に設置されました。看護学専攻・放射線技術科学専攻・検査技術科学専攻・理学療法学専攻・作業療法学専攻の 5 つの専攻から成る 4 年制の医療系学科です。当学科は医療現場で不可欠で重要な役割を果たす、看護師・保健師・助産師・診療放射線技師・臨床検査技師・理学療法士・作業療法士を育成しています。これまで、毎年 200 名以上の本学科卒業生・学院修了生が北海道はもとより、全国の医療現場で各々の職務に就いております。

平成 16 年度入学の学部生が卒業した平成 20 年には大学院修士課程(2 年制)が、平成 22 年には大学院博士後期課程(3 年制)が設置され、各職種の指導的立場に立てる人材及び教育・研究者の育成を目指しています。北海道大学大学院保健科学院は、大学院大学として毎年 70 名程度の修了者を輩出し、医療現場だけでなく企業や教育現場にも卓越した専門家を送り出しています。

令和 4 年(2022 年)の夏、長きに渡り北大保健の礎を築かれた伊達広行研究院長が、現職のまま急逝されました。伊達先生の突然の逝去は、私たちのコミュニティに大きな喪失感をもたらし、伊達先生の指導と啓発を受けた多くの学生や同僚が悲しみに包まれました。伊達先生は教育と研究の場で尽きることのない情熱を持ち、新たな知識を探求する姿勢を示し、私たちに教員のあるべき道を示し続けられました。また、伊達先生は将来の医療従事者の健やかな成長と保健科学研究の発展を誰よりも大切にしておりました。その精神を受け継ぐため、伊達広行基金の創設を決意しました。

我々の使命である医療現場への優秀な人材供給を安定的に実現するためには、持続的な資金が必要です。そのため、寄附とチャリティイベントによる募金活動を展開し、広く個人・法人の皆様からの協力をお願い申し上げます。

ご寄附いただいた資金は、本学科・学院で学ぶ学生の学習環境を整備し、修士課程・博士後期課程学生の海外派遣や学会及び論文発表の支援、並びに若手研究者の海外派遣を通じた育成支援など教育と研究の充実の目的で大切に使用させていただきます。伊達広行基金は、医療教育と保健科学研究の未来に向けた希望となるでしょう。

令和 7 年 4 月吉日

北海道大学医学部保健学科長・大学院保健科学院長・大学院保健科学研究院長 石津明洋